

The Resurrection of Christ (Raffaello Santi, 1502)

広報 なかわだ 第388号

4月の予定

受難の主日／教会委員会	4月 1日 (日)
聖週間 (木／金／土)	4月 5-7日 19:00
復活の主日／初聖体	4月 8日 (日)
信徒の会 例会	4月 15日 (日)
子どもと共に捧げるミサ	4月 22日 (日)

復活した主イエスに出会った弟子達

《ルカ福音書 24章12～35節より》

主任司祭 小林 陽一

キリストの弟子達は、「十字架につけられてイエス様はまちがいなく亡くなられた」と思っていました。そのため、弟子達は、復活した主イエスに会っても、すぐには「その方が主イエスだ」とは分かりませんでした。

週の初めの日の朝、エルサレムからエマオに向かう二人の弟子達は、議論しながら歩いておりました。そこへ見知らぬ人が近づいてきて、「何の話をしているのですか」と尋ねました。二人は暗い顔をして立ち止まりました。「エルサレムに滞在しておきながら、そこで起こったことをご存知ないのですか」と言いました。見知らぬ人が「それはどんなことですか」と聞くと、二人は「ナザレのイエスのことです。この方は行いにも言葉にも力のある預言者でした。それなのに、大祭司や議員たちは死刑にするために引き渡し、この方を十字架につけてしまったのです。数人の私たちの仲間が墓に行ってみますと、婦人達が言ったとおり、その方は見当たりませんでした。すると、その見知らぬ人は、モーセから始めて、すべての預言者がメシアについて聖書全体にわたって書いていることを、二人に説明されました。彼らは目指すエマオ村に近づきました。見知らぬ人はなおも先に行きそうな様子でした。二人は、見知らぬ人に、「いっしょにお泊まり下さい。日もはや傾いています」と言って、引き止めました。宿に入り、夕食をとっているとき、その見知らぬ人はパンをとり、賛美を捧げて、手で分けて、二人にお渡しになりました。その時、二人の目が開けて、「イエスだ」と気づきましたが、もうそのお姿は見えなくなりました。「あの方が聖書を解き明かされたとき、私たちの心は内で燃えていたではないか」と二人は語り合いました。二人は元気を取り戻し、エルサレムに引き返してみると、11人の使徒とその仲間が集まっていて、「主は本当に復活して、シモンにお現われになった」と話していました。二人も旅の途中で起こったこと、パンを手で分けたときイエスだと気付いたことを話しました。

エマオに向かう二人の弟子を含めて、キリストの弟子達は、復活した主イエスに会ったとき、いま目の前におられるイエス様は生前のイエス様そのままであり、言葉づかい、動作、話しかける口元、ほほえむ目のやさしさ、日常の仕草が、まったく生前のイエス様と変わっていないと気付いたとき、「主はお言葉どおりよみがえられた。帰って来られた」と確信したのではないかと思います。生前のイエス様に会えたという大きな喜び、それはキリストの弟子たちの心そのものだったと思います。

典礼こよみ (四月)

日	曜	典 礼	ミサ・勉強会	備 考
1	日	受難の主日	主日ミサ (9時)	教会委員会
5	木	聖木曜日	主の晩餐 ミサ (19時)	
6	金	聖金曜日	主の受難 祭儀 (19時)	
7	土	聖土曜日	復活の聖なる徹夜祭 ミサ (19時)	大掃除、卵づくり
8	日	復活の主日 / 初聖体	主日ミサ (10時)	祝賀会
14	土		主日ミサ (18時)	掃除
15	日	復活節第2主日	主日ミサ (9時)	
21	土			掃除
22	日	復活節第3主日	子どもと共に捧げるミサ (9時)	サロン
28	土			掃除
29	日	復活節第4主日	主日ミサ (9時)	聖堂清掃 (A,B)

委員会だより

(文中敬省略)

△3月11日 (日) 10名出席▽

小林神父の話

女性の祭壇奉仕者は教皇庁典秘跡省指針による「教区司教の決定により認められる」を踏まえ梅村司教様は2012年2月28日現在認めておられる。

2011年10月11日、教皇ベネディクト16世により「信仰年」の開催決定が発表された。「信仰年」は2012年10月11日(第二バチカン公会議50周年)に始まり2013年11月24日(王であるキリストの祭日)に終わる。
横浜教区では、信仰年を横浜献堂150周年を深める機会とする。冊子「信仰の門」を購入してほしい。教会の刷新が信者の生活のあかしを通して実現されることをめざしている。

●聖週間、四旬節の過ごし方―祈りの時間を大切に―

各グループからの報告

●典礼 (大宮)

●聖木曜日の洗足式参加希望の方は典礼グループに申し出てください。

●聖木曜日のミサ後から復活のキリスト像を香部屋で管理するので掃除の時は注意して頂きたい。

●7月8日 (日) 教区懇談会のため神父様が不在になるので集会祭儀を施行したい。

↓聖体奉仕者の方々が積極的に考えておられ、神父様から「是非この機会に実施してほしい」とのコメントを受け実施することで委員会決定となった。

●財務 (甲斐)

特になし

●宣教 (井上)

●3月10日 (土) 「追悼と再生を祈る会」がYMCAいずみ保育園で開催され当教会からも8名が参加された。

●第五地区 春の合同遠足

●5月20日 (日) 湘南白百合学園小学校の運動場(雨天体育館)にてミニ運動会

●サマーキャンプ

●8月10日 (金) 12日 (日) 星美ホーム山中林間寮にて

●湘南キリスト教セミナー

●5月26日 (土) 藤沢教会2時～片柳神父「闇に光を」マザーテレサの生涯に学ぶ

●要理 (石崎)

●復活祭に3名のお子さんが初聖体を受けました。ご父兄より飲み物寄付

●色紙を聖堂出口横の棚に置いておくのでお祝いのメッセージを書いてください。

●建物 (福島)

●3月20日 (火) 業者による大掃除を実施。9時～14時 聖堂、窓、サッシ、フロア、廊下/費用12万円

●4月7日 (土) 聖堂以外の大掃除(連絡網にて全員) 香部屋、事務室、集会室、応接間、新集会室 (4月6日は中止)

●4月29日 (日) 聖堂掃除 AB地区

●福祉 (中島)

●バザー 残品はほぼ売れた。(今後売上金はカリタスジャパンあるいは仙台教区に送ることを検討する)

●毎月第3月曜に行っている布切りでマザーテレサの家に送るキルト用の布がたくさん出来た。

●毎月教会報25通を最近教会に来

ておられない方々に送っている。長年送り続けていると教会に又戻って来られる方を見受ける。今後は持参したり

ポストに入れる部数を増やしたい。(そのためにも最近来ておられない方の情報がほしい) 委員会として了承

●総務 (岩淵)

●ゆで卵作りは4月7日 (土) 例年通り実施、ご近所にも配る

●冊子「信仰の門」20部購入 120円

●広報 (今井) 原稿依頼

●信徒の会 (小野)

●4月17日 (火) 横浜天主堂献堂150周年記念ミニ巡礼(参加の方は掲示板の申込書に記名してください)

●討議事項

●4月30日 (月) マリノ・E・デハクトJ助祭の司祭叙階式(戸部教会) 小林神父、上野委員長出席。

●バザー

●具体的な方針は地区の代表による4人態勢で検討中

●テントが劣化しているので一張り購入したい 10万円程度

●レンタルにすれば一回につき一万円で設定も業者に依頼できる。

●(岩淵さんコメント)

●その他

●2月19日、第五地区共同宣教司牧委員会が当教会で開催された。上野委員長は第五地区「証し部門」の取りまとめ役担当となった。

●「他教会の活動を知ることが信徒の会の活動に参考になるのではないかな。信徒の会で「祈る」「伝える」に関する今までの流れを説明したい」(岩淵さんコメント)

●4月スケジュール訂正・確認事項

●4月14日 (土) 主日ミサ 18時

(今回は4月1日)

○現在のテントは年二回貸し出ししているが、それは現在のもので対応可能

○購入するかレンタルにするかメリット、デメリットを考慮して今後検討していく。

●4月委員会 1日 (日) に行なう

●7月8日 (日) 集会祭儀実施決定につき、典礼委員大宮さん主導、上野委員長を責任者とする。

《お知らせ》

是非、ご出席下さい!

第21回 湘南キリスト教セミナー
ともに生きるよこび

闇に光を
「マザー・テレサの生涯に学ぶ」

片柳 弘史
142326 (司祭)

【日時】2012年5月26日(土)14:00~16:00
【場所】カトリック藤沢教会 参加費 300円 定員300名



「今年のバザーをどうするか」の検討結果について 武田 幸子

昨年のバザー実施後の反省をふまえて、皆様には1月の検討会、信徒大会、2月の検討チームでの話し合い等、ご意見をいただきました。

日頃のバザーについての皆様の思いなどもわかり、多くの議論ができたことは大変、有意義な事であったと思います。その結果、今年のバザーは次の様な方法で実施することになり、また、皆様のご了承も得ましたのでお知らせします。

- (1) バザーは今年度も実施する（無理のない範囲で）
- (2) 利益金の使途は福祉関係と建設関係資金等に振り分ける。
- (3) 実施主体は「A、B、C、Dの地区代表と必要な方」を核とし、ベトナムの代表の方を入れて組織する。

以上のようになりましたので、その時期になりましたら、楽しいバザーになりますように、皆様のご協力をお願い致します。



～ 中和田の風 ～

「聖書を分かち合う会」

八乙女すみ枝

毎週水曜日、朝10時から11時半まで小林神父様を囲んで「聖書を分かち合う集い」が中和田教会、集会室で行われています。

内容は次の主日のミサの「聖書と典礼」を用い、詩篇全文を参加者が順番に一節ずつ音読し、各自心に響いた一節を選び、それについて心に思ったことを自由に話し他の方と分かち合います。

続いて福音の一節ずつを音読し、詩篇と同じように心に響いた箇所を選び、やはり思ったこと感じたことを自由に話し分かち合います。

み言葉の分かりにくいところは質問し、神父様が説明してくださったりします。

私が洗礼を受けた頃は「公教要理」を半年ほど教えて頂き一度も聖書を開くこともなく、昭和30年埼玉県浦和市天主教教会にて洗礼を受けて頂きました。

その後、結婚、出産、子育て、夫の帰天、再就職とお恵みも沢山頂きましたが、試練の多い人生で聖書の勉強をする間もなく時間が経ってしまいました。

ようやく仕事を退職し自由になれて聖書の勉強をしたいと思っていた頃に聖書の勉強会が始まり、何も解らないまま仲間に入れて頂きました。

それまでは日曜日の御ミサに預かって、極少数の限られた友人と話を交わすだけでしたが、この集いの仲間に入れて頂いたおかげで随分と色々な方とお知り合いになることができました。

今でも分かち合いは苦手で苦勞していますが、一人で聖書を読んでいるとどうしても表面的な言葉として受け入れがちなになりますが、皆さんのお話を聞いているとそれぞれの見方、考え方の違いが分かり参考になり良い勉強になります。

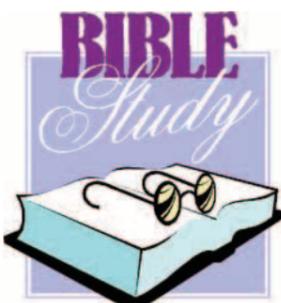
歳を重ねると病気などの思いがけない試練を与えられ、どうにもならない苦しみもありますが、必ず神様は手を差し伸べておられ良い道が開かれますし、イエズス様がいつも側におられるのを実感しています。

詩篇の祈りや聖書のみ言葉にふれる度にその思いは一層強くなり、神様のみ旨のままになりますようにと思えるようになりました。本当に聖書の会で勉強できて良かったと思っています。

この分かち合いは前回と繋がりがありませんので、どうか皆様も体調の良い時、又は誰かの顔を見て話したい時など気楽な気持ちで是非一度いらしてください。

広報委員より：去年の復活徹夜祭で洗礼を受けて頂き、多くの皆様に祝福された喜びは今も私の支えです。その私一年足らずで中和田広報の編集に携わらせて頂くことになり戸惑いもありましたが、せめて広報グループの足を引っ張らないようにと心してスタートしました。

既にお気づきかと思いますが、今までの「中和田の声」を「中和田の風」とネーミングを変えさせて頂きました。「中和田の風」に限らず、こちらから投稿をお願いすることが多々あると思いますが、皆様からの積極的な投稿をお持ちしております。尚投稿は実名のみとさせて頂きますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。今井 暁子



追悼と再生を願う祈りの会に参加して 井上 昭男

2011年3月11日午後2時46分突然大きな地震が発生し、そして今まで経験したことのない大きな津波が押し寄せ、尊い多くの人々が犠牲になりました。時が過ぎ去るのは早いもので一年が経ちました。日本中が悪夢を見ていたような忘れられない一年になり夢だったらどんなに良かったことか。一年が過ぎていまだに不自由な生活を余儀なくされている被災者の方々の声を拝聴すると、自分の無力さにやりきれなさを感じます。

2012年3月10日YMC Aいずみ保育園で午後2時より泉区民クリスマス実行委員会主催で諸派を越えたキリスト教の信者の方々が集まり、長引く困難の中から、復興にそして支援をよせる人々の思いや願いが、イエス・キリストの慈しみの中で支えられ実を結んでいくようにと心一つにして祈るとともに、どんな小さなことでも、今自分に出来ることを継続してやっていくことが大切なことであると実感しました。

日本人が示した絆は世界中の人々に感動を与えました。今こそ私たちが手をつなぎ、心一つにしてこの困難をのりきる時と、この集会に参加して感じ、小さなことしかできないかもしれないが、自分のできることから応援していきたいと思っています。

第5地区リーダー会よりお知らせ 井上 昭男

横浜教区第5地区（鍛冶ヶ谷、戸塚、原宿、中和田、大船、片瀬、藤沢）で2006年より教会学校の行事（春は遠足又は運動会、サマーキャンプ他）を通して交流を深めています。2012年度の計画が決まりましたので多くの方の参加を待っています。

- 1) 運動会 日時 2012年5月20日（日）9:30～15:00
場所 湘南白百合学園小学校

*パン食い競争、綱引き、ムカデ競争等、大人でも参加できる競技もありますので、大人も子供も一緒に参加してください。

- 2) サマーキャンプ 日時 2012年8月10日（金）～12日（日）
場所 星美ホーム山中林間寮

*2011年は静岡の聖光学院寮で行い、子供たちも約60名ほど参加（中和田教会からは本庄華さんが2年続けて参加）し、他教会の友達とふれあい、楽しい2泊3日のキャンプができました。キャンプ内容については決まり次第またご報告いたしますが、今年は中和田教会からも多くの子供たちが参加してくれることを願っています。

「ミニ巡礼」のお知らせとお誘い（4月17日）

まだ、詳細ルートなど確定しておりませんが、下記は、「ミニ巡礼」のプラン概略です。どなたでも参加頂けます。もちろん、信徒以外の方々の参加も大歓迎です。

－ 暫定プラン －

- 日時 4月17日（火曜日）午前9時～午後2時くらいまで
- 巡礼地 山手教会（司教座聖堂）＋ 横浜天主堂記念碑
《註》中華街で昼食を予定
- 交通機関 横浜市営など公共交通利用
- 巡礼ルート 検討中（人数規模などを確定した上で決定します）



当日は、小林陽一神父様も参加されます。

また、参加費はゼロで、費用は各自で交通費＋昼食代のみです。

おさそい合わせの上ご参加願えれば幸いです。

（信徒の会（小野雅彦、岩崎好愛））



2月26日に行事委員会が開かれ、今年も例年通りバザーが開催されることが決定されました。併せてバザーに関しての行事委員会には、今年から新たにベトナム出身の代表者にも加わって頂くこととなりました。

バザー開催の目的は「信徒間の親睦を図ること」、「近隣住民の方に教会を理解して頂く一助とすること」、及び「収益があれば教会の目的達成の為に役立てること」の3つにあると考えられます。

一時、バザーの中止も話題に上がったこともありました。その主な根拠は信者全体の高齢化や若い方の参加が少ないために、準備や開催当日の作業が困難になってきているというものでありました。

これらをクリアすることは大変難しい問題ですが、“老いも若きも”こぞって力を合わせれば新たな活力も湧いてくようというものです。できるだけ多くの方に参加して頂き目的達成に向けて前進していきたいものです。